

北陸システム建築協力が会が総会

JFEシビル2社入会し29社に

JFEシビル北陸営業所(所長・東司氏)管内のシステム建築「メタルビル」の施工店などで構成するJFE北陸システム建築協力会(会長・西村仁中越鉄工社長)は5月25日、黒部市の宇奈月温泉「延対寺荘」において「平成28年度定期総会」を開催した。

総会では冒頭、欠席の西村会長に代わり山本建設社長の山本隆副会長が挨拶に立ち、「昨年度の富山県の公共工事費は、北陸新幹線関連工事が一服したことなどから前年度比約32%減と全国でワーストだった。修正予算も含めると4%増だが、過去3年間で人件費が上昇しており、工事件数は減少している。石川、福井でも工事費は前年度と比べ減

少した」と公共工事の動向に触れた。

続いて、来賓として出席したJFEスチール北陸支社の尾島和彦支社長は「足元は中国をはじめとする海外の動向や原料価格に振り回されている状況。そうした中でもゼネコン、ファブ、流通の皆様が「ウィンウィン」になれるよう頑張っていくので、協力をお願い

したい」と山本副会長のお話にもあったが、北陸地区の公共工事が減少傾向にある中、北陸新幹線の敦賀延伸工事では今年度中にすべの工区が発注され計画が進捗するようだ。皆様と情報を共有し一緒に仕事をさせていただきたい」と挨拶。

続いてJFEシビルの平田浩司システム建築事業部副事業部長が挨拶し、同社の現況や当面目標などを説明した。

総会議事では各議案が承認されたほか、新協力会員にA・Just(本社・白山市、社長・橋本和昭氏)、精田員総数は29社となった。総会後に開催された講演会では、宇奈月その歴史と魅力」とのテーマで話を聞いた。

河田稔氏を講師に招き「宇奈月ものがたり」



JFE北陸システム建築協会定期総会